

令和3年

第6回仙北市議会定例会

所 信 表 明

仙 北 市

令和3年第6回仙北市議会定例会 所信表明

第6回仙北市議会定例会の開会にあたり、所信を述べる機会をいただきましたことに、黒沢議長をはじめ、市議会議員の皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、これからの市政運営につきまして、私の決意を申し述べさせていただきます。

本年10月30日に仙北市長に就任してからひと月余りが経過し、周辺市町村へのあいさつ回りや、事業ヒアリング等の公務を行わせていただいておりますが、改めて仙北市のかじ取り役として選ばれたことへの責任の重さを強く感じております。

門脇前市長が3期12年で築かれた仙北市発展への道すじと想いをしっかりと引き継がせていただくと共に、直面している課題から目を背けることなく改善に全力で取り組んでまいります。

日本のみならず世界でも社会情勢の変化のスピードが年々早まる中、その変化に柔軟に対応し、仙北市のより一層の発展のために、そして市民の皆様のご期待にお応えできるように、これからしっかりと責任を全うしてまいります。

ここにお集まりの議員の皆様におかれましては、市民の代表として仙北市の発展と市民の幸せの実現を、ともに目指す同志であると思っておりますので、共に仙北市の明るい未来のためにそれぞれの立場で切磋琢磨しながら、市政を前に進めてまいりましょう。

どうか議員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【世界と日本の変化における仙北市の位置】

①収束が見えない新型コロナウイルスの蔓延

日本では新型コロナウイルス第5波が沈静化し緊急事態宣言も解除されましたが、世界的にみるとヨーロッパ各国、そして、韓国等では再度感染者が急増する等、深刻な状況です。そのことを踏まえると、日本に

においても、いつなんどき再度感染者が増えるか予断を許しません。これから行われる第3回のワクチン接種などへの十分な準備が必要です。

②コロナウイルスが引き起こした社会変化への対応

コロナウイルスが引き起こしたパンデミックは、日本全体、そして、本市産業にも大きな影響を引き起こしました。特に、本市の基幹産業の1つである観光関連産業及び様々なサービス業に大きな影響を与えました。先日の日本銀行秋田支店のレポートによれば、この影響をまだまだ脱しきれていないということでした。その意味でも、アフターコロナをにらんだ仙北市内産業の振興を進めていくことが必要です。

③気候変動の深刻化

ここ数年、本市は台風および突発的な豪雨の来襲など、気候変動の影響を強く受けております。先般の気象庁の発表によれば、今年にはラニーニャ現象であり、シベリア高気圧の冷たい空気が日本列島に流れ込みやすくなり、寒波は例年にも増して、厳しくなるとのことでした。つまり、これから豪雪に備えることが必要です。

④デジタルトランスフォーメーションの進展

本年9月にデジタル庁が発足し、日本国全体としてのデジタル化の動きが進んでおります。加速化する人口減少へ備えた各種公共サービスの再構築、そして、住民とのコミュニケーションの密度の増加を目指し、行政全体としてのデジタル化を進めようとしております。このことは、一般に言われてきたPDCAサイクルでの施策立案からOODA(ウーダ)サイクルと言われる現状変化を重視した行政スタイルへの変化をもたらそうとしております。

【仙北市特有の課題】

①急速な人口減少への備え

本年6月に示された2020年実施の国勢調査によれば、全国的に人

口減少の動きが止まっています。本市においても、人口減少を止めることはかなわず、より深刻な状況になっております。急速な人口の減少は、地方での生活の基盤となる地域コミュニティの崩壊を招きます。

②財政構造の健全化

ここ数年の積極的市政運営の結果はまだ見る事が出来ていません。結果、各種税収は増加せず、経常損失は増加する一方です。また、次年度以降発生する、これまでの各種ハード整備に伴う多額の支払いの発生が想定されております。その結果、自然災害をはじめ突発的な問題が地域で発生した場合、対応がとれない深刻な状況が心配されます。

【これから進めるべき施策】

①幸福度NO.1のまちをめざして

全国的に人口減少の動きが加速化する中、第一義的に人の数を増やすことを政策目標とするには無理があります。必要なのは、市民一人ひとりが、この市にすむことで幸福を感じることができるまちづくりです。具体的にいうと、自分のやりたいことができる、自分のしたいことがチャレンジできるまち、自分のことを大切におもってくれるひとがいるまち、自分の居場所が市内にあるまちを目指します。

②幸福をつくるまちになるための体制づくり

現状の財政状況では、幸福度をあげるための積極的な施策を打ち出すのは困難です。財政上、施策立案上の体力を高める必要があります。体力をつけるために、行政評価制度の再構築、財政構造の改善、業務量の把握による業務プロセスの改善、施策立案プロセスの改善、補助金助成金の改革、職員の積極的な育成、市内のまちづくり人材の育成を進めます。加えて、現在の時代状況にあわせて、総合計画、総合戦略のブラッシュアップを行います。

③仙北市の特性を活かした産業振興の促進

仙北市の産業特性である観光関連産業・農業・建設業及び文化芸術産業を中心とした産業振興を行います。コロナ禍への対応を含め、中小企業支援を積極的に進めることで、市民の所得の増大、雇用の確保を進めます。そこで、域外からの売り上げを上げるために各種販売ネットワークの強化、産業振興を進めるためのマーケティング体制の強化を進めます。

④安心安全のまちづくりの推進

地域包括ケアを初めとして、フレイル健診などを通じて、高齢者が安心してらせるまちづくりを進めます。相談機能などを強化し、きめ細やかなサービスを進めます。そして、子ども・母親が安心して暮らせるまちとして、一人ひとりの子ども・母親に向き合い、市内拠点を核とした質の高い保育サービスを進めます。

⑤堅実な社会資本整備の推進

大雪・大雨などの災害にまけない社会資本整備を地域と一緒に進めます。今後の人口動態の変化も見据えつつ、快適に暮らせるまち・みちづくりを進めます。

⑥次世代を見据えた教育施策の推進

少子化の進む状況化にあわせ、英語教育、芸術教育、環境教育などの次世代の創造性を活性化させる教育施策を児童生徒の一人ひとりの特性に合わせ進めます。

⑦デジタルトランスフォーメーションの進展

これまでの施策を円滑に進めるために、行政システム全体のデジタルトランスフォーメーションを一步一步進めていきます。国の流れと連携し、データ、エビデンスを重要視した市民の幸福度をあげるためのデジタルトランスフォーメーションを進めます。

以上、市長就任にあたり、私が市政を運営する上での課題や基本政策を述べさせていただきました。

既に策定されております第2次仙北市総合計画と、本日表明させていただいた市政方針の整合性を確認しながらブラッシュアップし、議員の皆様や市民の皆様からのご意見をお聞きしながらより具体的な施策や事業を実施し、プロセスを重視すると共に成果や結果に重点を置いた行政運営を進めてまいります。

現在仙北市が直面する少子高齢化や市役所財政の逼迫、また新型コロナウイルスによる市民生活・市内産業への大きなダメージなどを考えますと、今後極めて厳しい行財政運営を避けては通ることはできないものと認識しております。

このような状況だからこそ、私はもとより、議会の皆様や市職員、市民の方々が危機感を共有し、地域の存続と次世代への継承を実現するための協働が求められております。

そして、これから目指す市政理念ともいうべき「幸福度全国NO.1の仙北市」という目的地へ、「仙北丸」を出航させたいと思います。

どうか議員の皆様におかれましては格段のご支援とご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。